

いわき農林ニュース

(ごちそう ぶくしま絆づくり運動ニュース)



発行 平成23年4月28日

※『東日本大震災』いわき地域の被災状況写真について



「6次化ネットワーク」を 開催

3月3日(木)、県いわき合同庁舎において、いわき地域産業6次化運営会議(事務局:いわき地方振興局・いわき農林事務所・水産事務所)の主催による「第3回いわき地域産業6次化ネットワーク」を開催しました。

第3回目となる今回は、具体的な素材、「米粉」を課題とした研修会を行いました。

始めに、事務局より「いわき地域における6次化商品の開発状況」が報告された後、米粉研修会に入りました。

研修会では、茨城大学農学部 塩教授による「米粉を取り巻く状況について」と題した講演と、福島県県産品加工支援センター 高野主任研究員による加工技術についての説明が行われ、その後、JAいわき市営農指導課 園部課長補佐、県立磐城農業高等学校食品流通科 坂井教諭、パティスリー ペールノエル 永久保オーナーパティシエが、それぞれ米粉を使った商品の開発状況について説明を行いました。

研修に際しては、JAいわき市が開発中の梨のコンポートと米粉を使ったパンや、ペールノエルの三和町産米粉のカステラなど、販売や試作中の商品の試食も行い、参加者は米粉を使った商品のしつとりとした食感やおいしさを実感していました。



(米粉を使った6次化商品の試食の様子)

意見交換では、「製粉機の価格はいくらか?」、「どんなコメでも米粉になるのか?」など、さまざまな質問が出され、また、米粉の価格が、米粉を使う上で大きな障害になっているという意見が出され、米粉を使った商品開発の問題点も明らかとなりました。



「女性農業者育成セミナー」 を開催

3月8日(火)、県いわき合同庁舎において、女性農業者育成セミナーを開催しました。

このセミナーは、いわき地区生活研究グループ連絡協議会員を対象として、地場農産物の活用について理解を深め、消費者への地産地消推進等、女性農業者の活動の充実を図ることを目的として開催しています。



(酒井忠平氏の講演の様子)

セミナーでは、いわき市川前町の「ちゅうちゃん漬本舗」代表の酒井 忠平氏が、「地元農産物を使った商品開発と販売戦略」と題して講演を行いました。

酒井氏からは、地元産ダイコンへのこだわりや、商品開発、販路拡大の苦労などについて説明が行われ、参加者からは、漬物加工のコツや販売の工夫などについて多数の質問が出されました。

また、講演終了後は、女性農業者達が、それぞれ持ち寄った一品料理を試食しながら、講師を交えた活発な意見交換が行われ、充実したセミナーとなりました。



「ごちそう ふくしま絆づくり運動」いわき地方推進本部会議を開催

3月9日（水）、県いわき合同庁舎において、平成22年度第2回「ごちそう ふくしま絆づくり運動」いわき地方推進本部会議を開催しました。

県では、今年度からスタートした福島県農林水産業振興計画「いきいき ふくしま農林水産業振興プラン」を着実に推進するため、知事を本部長とする県推進本部を設立し、いわき地方においては、8月5日にいわき地方推進本部を設立し、積極的に「絆づくり運動」の取り組みを展開しています。

いわき農林事務所高梨所長のあいさつに引き続き、議事に入り、各構成機関における平成22年度の取組実績と平成23年度の計画などについて協議を行いました。

各構成機関からは、取組状況などが説明され、多くの絆づくり運動の取り組みの現状が明らかとなり、情報の共有化が図られました。



（いわき地方推進本部会議の様子）

また参加者からは、今後も「絆づくり運動」を継続して取り組むことや、体験イベントを通じて、子ども達に芽生えた「味と思い出」を未来へと繋いでいくことが重要であるなどの意見が交わされ、今後も積極的な運動の展開を図っていくことが確認されました。



「福島県指導農業士会いわき支部総会」が開催されました。

3月9日（水）、いわき市湯本 ホテルいづみやにおいて、「福島県指導農業士会いわき支部総会」が開催されました。

支部長あいさつ、いわき農林事務所長祝辞に引き続き、議事に移り、平成22年度の事業実績、収支決算報告、平成23年度の事業計画、予算、役員改選が提案され、承認されました。

総会では、平成23年度の支部役員として、支部長 鈴木 克巳（勿来）、副支部長 高木 茂寿（渡辺）、事務局長 遠藤 美喜子（渡辺）、監事 遠藤 重和（渡辺）の各氏が前年度に続き再任され、小泉 美砂子氏（常磐）が新監事に就任し、新年度の体制が整いました。

会員からは、「若い農業者との交流を深めたい」との意見が出され、青年農業者に対して支部行事への積極的な参加を働きかけることとしました。



（指導農業士会いわき支部総会の様子）

今後、支部会員により活力ある農業・農村の実現に向けた取り組みをはじめ、研修受入等が行われ、地域農業の牽引者として一層の活躍が期待されます。



「いわき地方GAP推進研修会」が開催されました。

3月10日（木）、茨城県JA岩井営農センターにおいて、JAいわき市梨部会、ねぎ部会の代表など8名の参加により、いわき地方GAP推進研修会が実施されました。

JA岩井営農センターの園芸部は、昭和43年に発足し、平成21年度は主力

のレタス、ねぎを中心に部員数516名、販売額は全体で68億5千万円、1戸当たりの平均販売額は、1,300万円に及ぶ露地野菜を中心とした産地となっています。

また、平成11年から栽培履歴を完全義務化し、食の安全・安心に取り組んでおり、平成19年からは産地としての信用・信頼を維持し、将来は、産地評価を向上させ有利販売につなげるため、全体でGAPに取り組んでいます。



(GAP 推進研修会の様子)

GAPのチェックについては、GAP指導員による作業場の巡回指導や、JA外部監査などにより、徹底した管理が行われています。

この研修を通じて、産地としての信用・信頼を維持し、将来の有利販売につなげていくために、GAPの取り組みの必要性が、強く認識される研修となりました。

※GAP (Good Agricultural Practice) : 農業行動規範に定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。



「がんばろう Fukushima!」 地産地消運動」を実施

県産農林水産物は、福島第一原子力発電所の事故により、摂取・出荷制限だけでなく、風評により安全な農林水産物までもが影響を受けるなど、甚大なる被害を受けています。

このため、県内量販店・農産物直売所等において正しい情報提供を行い、実施団体・店舗品目を順次拡大していくことにより、県産農林水産物の販売を促進するとともに、地産地消を推進することを

目的として、4月1日(金)から「がんばろう! Fukushima! 地産地消運動」が県内で実施されています。

いわき市においては、4月1日(金)から3日(日)まで、マルトショッピングセンター中岡店、城東店の2店舗に設置された販売コーナーにおいて、イチゴの試食、知事メッセージ、のぼり等により運動をPRするとともに、出荷・摂取制限を受けない安全な農林水産物のチラシを配布しました。



(がんばろう! Fukushima! 地産地消運動の様子とのぼり)

スタートイベント第2弾は、4月7日(木)から県内8店舗で実施され、いわき市においては、イオンいわき店に設置された販売コーナーにおいて、知事メッセージ、のぼり等により運動をPRするとともに、出荷・摂取制限を受けない安全な農林水産物のチラシを配布しました。



(ショッピングセンターマルト城東店での販売の様子)

風評被害を防止するには、生産・流通・消費者の方々の協力が必要ですので、みなさんの応援をよろしくお願いいたします。

また、これに関連して、県産農林水産物等を継続して積極的に販売(又は食材として活用)しようとする販売店・飲食店を対象として「がんばろう Fukushima! 応援店」を募集しています。

◎平成23年3月11日発生
東日本大震災 いわき地域の被災状況写真について
(4月11日発生の余震を含む)

写真撮影位置図

① 勿来町関田の水田



② 錦町の集落と海岸堤防



③ 岩間町川田 常磐林業(株)



④ 岩間町岩下 集落



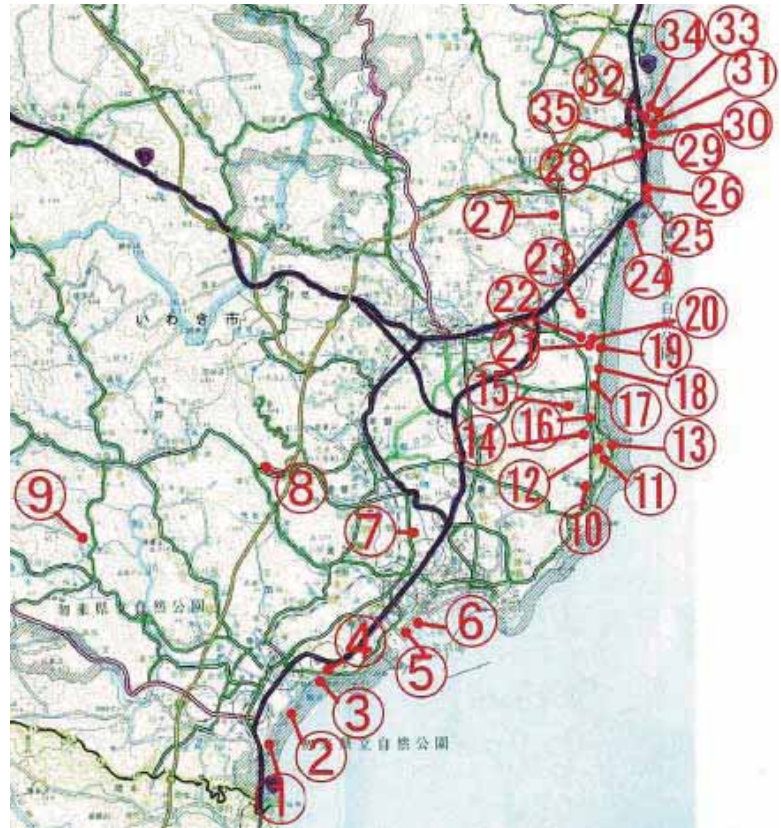
⑤ 小名浜辰巳
アクアマリン
ふくしま
東側デッキ



⑥ 小名浜辰巳
岸壁上の漁船



⑦ 渡辺町
ハウス用
燃油タンク
倒壊



⑧ 渡辺町上釜戸（余震による被害）
主要地方道いわぎ・石川線の土砂崩れ



⑨ 田人町黒田（余震による被害）
水田の断層 H=1.5m



⑩ 平豊間寺前 水田



⑪ 平薄磯北ノ作 水田



⑫ 平沼ノ内北ノ作集落（薄磯海岸周辺）



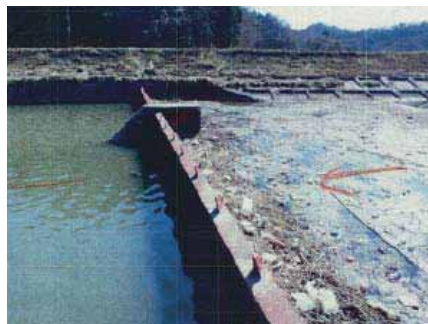
⑬ 平沼ノ内 復旧治山事業 餓鬼堂



⑭ 平沼ノ内仕付田
主要地方道 小名浜・四倉線



⑮ 平上高久鹿前
転倒ゲートの津波による破損 右は堆積物



⑯ 平下高久南谷内
液状化による水田の填砂



⑰ 平藤間（財）長春館 舞子浜病院



⑱ 平藤間 県道 豊間・四倉線



⑲ 平藤間 湛水防除 大越藤間第二



⑳ 平下大越南横手 海水のたまった水田



㉑ 平下大越南横手 ネギの塩害



㉒ 平下大越南横手 玉ねぎの塩害



㉓ 平下神谷南河原 ブロッコリーの塩害



㉔ 四倉町6丁目
四倉漁港と国道6号線



㉕ 四倉町5丁目 道の駅 よつくら港 右が海岸方向



㉖ 四倉漁港から 国道6号線に打ち上げられた漁船



㉗ 四倉町長友
(有)トマトランドいわき



㉘ 久之浜田之網
水路内の消波ブロック



㉙ 久之浜町久之浜中浜 水田



㉚ 久之浜中浜 久之浜第一幼稚園



㉑ 久之浜町久之浜 北町集落



㉒ 久之浜代ノ下
大久川 代ノ下橋 (木橋の流亡)



㉓ 久之浜町後 大久川 陰磯橋
(県道 久之浜港線)



㉔ 久之浜館ノ山 久之浜漁港



㉕ 大久町大久 大久川
米野取水堰 (津波の漂流物)



いわき農林事務所からのお知らせ

平成23年3月11日発生した「東日本大震災」でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

「東日本大震災」の災害復興のために！
みなさま様とともに

がんばっぺ“ふくしま!!”がんばっぺよ“いわき!!”



◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

(県いわき合同庁舎 3階) E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp